

保健事業の 協力者を募集中



子どもの健診や健康相談時のお手伝いができる方を募集します。1回につき4時間程度ご協力頂きます。

協力いただける方は、登録を
していただき、必要に応じて依
頼します。

▼職種 保健師、管理栄養士、
保育士、歯科衛生士、助産師、
看護師ほか

▼謝金

6,000円～6,800円

▼提出書類 町指定の履歴書、
資格を証明するもの(写し)

◎問い合わせ スポーツ健康課

☎内線309

ファミリー・サポート・ センター 援助会員募集

小さなお子さんを持つ方が安心して子
育てや仕事ができるように、育児援助に
ご協力いただける方を募集!



▶募集会員

援助会員(育児の手助けを
してくださる方。登録後に研修あり)

▶援助活動内容

- ・保育園、幼稚園や習い事等の送迎及
び帰宅後のお預かり
- ・保護者の急病や出産、冠婚葬祭や
お出かけのときのお預かり

▶その他 活動時間等詳細については、
お問い合わせください。

※申込用紙は町ホームページからダウ
ンロードできます。

◎問い合わせ・申込み

子育て支援総合センター ☎(71)3377

母と子の おあしす 開催

「おあしす24健康おおいぞ」
の一環として、小さいお子さん
と保護者を対象とした「母と子
のおあしす」を開催します。お
子さんの測定(身長・体重)と育
児相談、お母さんの健康づくり
として「今が大事な骨づくり」
のお話と骨密度測定を行います。

▼とき 8月7日(火)

午前10時～12時

▼ところ 横溝千鶴子記念
子育て支援総合

センター

「めばえ」

▼申込み 不要

◎問い合わせ

スポーツ健康課

☎内線308



補助犬って 知っていますか?

★補助犬とは?

視覚・聴覚・肢体等に障がい
のある方の自立や社会参加の促
進に重要な役割を担っている盲
導犬・聴導犬・介助犬のことを
いいます。

★身体障害者補助犬法とは?

身体障がい者が公共施設、交
通機関、スーパーやホテル等を、
補助犬同伴で安心して利用でき
るようにすることを目的として
制定されました。

★ご協力ください

補助犬がペットと誤解され、
飲食店等で同伴を断られること
もあります。補助犬は特別に訓
練され、障がい者を助ける大切
な役割を担っています。皆さんの
ご理解とご協力をお願いします。



◎問い合わせ 障害福祉センター

☎(73)4530

神奈川県障害福祉課

☎045(210)4709

こんにちはは栄養士です

暑い夏は食中毒に
注意しましょう!

☆食品の腐敗と食中毒の違い

食品の腐敗と食中毒菌が増殖
するのは別のことです。食品が
腐敗すると色や味が変わり、臭
いがしますが、食品内で食中毒
菌が増殖しても色や味は変わら
ず、臭いもないため、見た目では
分かりにくいという特徴があ
ります。

☆原因細菌と予防のポイント

肉類(特に鶏肉)に付着する
カンピロバクター。生やあまり
加熱しないで食べる場合に食中
毒を起こすことがあります。

肉類や卵などに付着するサル
モネラ細菌による食中毒を防ぐ
ためには、生や半熟で使う卵は
必ず賞味期限を守り、冷蔵庫で
保存しましょう。

人の皮膚や鼻の中などに住み、
傷がある部分で増殖する黄色ブ
ドウ球菌は、手に傷がある人が
素手でサンドイッチやおにぎり
を作ると菌が付着し、室温に長
く放置すると増殖して毒素がで
き、食中毒を起こすことがあり
ます。

傷があるときは、ポリ手袋な
どを使用し、食品を直接触らな
いようにしましょう。

海水に住む魚介類に付着し、
生で食べる刺身などが食中毒の
原因になる腸炎ビブリオ。魚介
類は4℃以下のチルド室に保存
しましょう。

人や動物の腸管内に住みつく
腸管出血性大腸菌は、牛肉や食
肉から二次汚染したサラダなど
が原因になりやすいです。牛肉
(ユッケ)やレバリの生食はや
めましょう。

☆家庭で出来る予防法
ほとんどの菌は加熱すると死
滅するため、しっかりと熱を通し、
生肉を触った手や箸で料理を取
り分けられないようにしましょう。

家庭で食中毒を予防するため
に菌を「つけない」「増やさない」
「殺菌する」の三原則を守り、
暑い夏を元気に乗り切りましょ
う。



◎問い合わせ スポーツ健康課
長尾 ☎内線319